

LIXIL商品 使用上・施工上のご注意

〈LIXIL商品 使用上・施工上のご注意の図記号について〉

LIXIL商品を安全に使用していただくために、禁止および注意・指示などを図記号によって示しています。施工の前、使用前には必ず、次頁以降の使用上・施工上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。この表示を無視して、誤った取り扱いをされますと身体の損傷などの危険がありますので、十分ご注意ください。

図記号	名称	意味
	一般禁止	商品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。本カタログでは記号右の欄に記載している内容を禁止しています。
	一般注意	商品の取り扱いにおいて、発火、破裂、高温などに対し、注意を喚起するための図記号です。本カタログでは記号右の欄に記載している内容の注意を喚起しています。
	一般指示	商品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を守っていただく図記号です。本カタログでは記号右の欄に記載している内容を指示しています。

労働安全について

商品の施工工事にあたっては、安全に施工を行ってください。

- 作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、耳、手の保護具)を正しく使用してください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、安全確保を行ってください。とくに高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- 作業は、相互の作業と各工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行ってください。
- 作業者が相互に安全確認を行ってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
- 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当てを行い、救助を第一に心がけてください。

LIXIL商品を安全にご使用いただくために、施工にあたっては次の点については、十分にご注意いただきますようお願いいたします。

組み立てに際しては、次の項目を守ってください。

	<ul style="list-style-type: none"> ●製品腐食のおそれがありますので、アルミ商品と銅板やラスなどの異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープなどを貼るか塗料などで絶縁処理をしてください。 ●基礎部の埋込深さは製品ごとに決めてありますが、現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)、基礎部のコンクリートの量(体積)に十分配慮してください。 ●埋込柱内部にモルタルやコンクリートなどが入ったり、水が溜まらないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。 ●カーポートの強度確保のために、水勾配がある場合には、低い場所の柱の埋込深さを基準通りに確保してください。 ●腐食のおそれのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするが、接触する部分を完全に養生してください。 ●塩分を含む砂は使用しないでください。モルタルに使用する砂は、塩分を含まないものにしてください。やむを得ず海砂を使う場合は、洗浄して塩分(NaCl)が国土交通省基準値(0.04%)以下になった砂を使用してください。塩分のチェックは塩分試験紙などで簡便にできます。また、市販の塩分を含まないプレミックスモルタルは、異常腐食防止に有効です。 ●塩素系および強アルカリ系のコンクリート用混和剤は使用しないでください。凍結防止剤や凝固促進剤を用いる場合、塩化カルシウムなどの塩素系化合物を含む混和剤や強アルカリ化合物を含む混和剤を使用すると、異常腐食の原因になります。非塩素系・非アルカリ系の混和剤を使用してください。 ●モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に商品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良や腐食の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●使用上の不具合や、事故を引き起こさないよう、商品の組み立てについては、備え付けの取付説明書を十分読んで、その指示を守ってください。 ●組み立ての際、ボルト・ビスは、規定本数を確実に締め付け固定してください。 ●取付けの際は、所定の部品を使用し、取付説明書に従い取り付けてください。取付け不良は落下の原因となり、事故(人損・物損)につながります。 ●取付け開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれのないことを確認してください。取付け開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因となります。 ●みだりに改造しないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●弊社商品設置以降のエクステリア施工の際には、商品をビニールなどで養生してください。飛散してくる粉塵や溶剤などで表面が侵され、塗装面等の劣化の原因になります。また、養生用のシートは商品に直接粘着テープなどで固定しないでください。剥がす際に塗装面を傷つけたり、粘性樹脂の残留物で侵される可能性があります。 ●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかにふき取ってください。 ●商品の運搬・組み立て時に、傷を付けないように注意してください。 ●商品周辺の防水処理と商品本体のシーリングは取付説明書に従って必ず行ってください。雨水の浸入は、家屋や家財を傷める原因になります。

点検・掃除について

	<ul style="list-style-type: none"> ●組み立て・施工完了後にボルト・ねじ類に緩みがないかを点検し、施工時の汚れを取り除いてください。また、組み立て・施工中に誤って付けた傷は腐食の原因になりますので、必ず補修塗装を行ってください。 ●可動部品につきましては、作動チェックを行い不具合箇所がないか確認してください。
---	--

寒冷地について

	<p>エクステリア商品は常に屋外で設置されていますので、気象条件によって作動に影響を受ける場合があります。とくに寒冷地では、低温や凍結によって機能が低下する場合があります。設置の際には注意してください。</p> <p>また、低温や凍結が原因と思われる場合には、無理な操作を控えてください。</p>
---	--

その他 施工・使用について

	<p>錠金具の機構は、バネを使用したり、複雑な構造となっていますので、絶対に分解しないでください。思わぬケガをするおそれや故障の原因となります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●商品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。 ●電気配線工事は電気工事店様に依頼してください。電気工事士等の免許がない人が工事をするとは違法となります。通電中の裸電線に触れると感電事故の原因になります。 ●電気配線は、折り曲げたり、はさんだり、傷つけたりしないでください。漏電や感電の原因となり、火事や人身事故につながります。 ●エクステリア商品は、夏場などに長時間直射日光にさらされると、商品が非常に熱くなる場合がありますので注意してください。 ●給湯器、暖房器などの排気熱が、商品に直接当たる場所には施工しないでください。 <p>また、商品にたき火などの火気を近づけないでください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●弊社商品以外の商品の取り付けに関しては、責任を負いかねます。

使用方法およびメンテナンスの説明について

	<ul style="list-style-type: none"> ●取扱説明書を施主様にお渡しするとともに、使用方法およびメンテナンスについて説明を行ってください。 ●商品内の「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。 ●通常の使用には十分耐えられる構造になっていますが、部分的に衝撃を与えますと、破損するおそれがありますので乱暴な取扱いは避けるようにしてください。 ●火気および高温物・高熱源の器具(給湯器等)を接触したり、近づけないように十分注意してください。腐食する場合があります。 ●定期的にビスやボルトの緩みがないか確認してください。 ●商品の可動部は、特性上作動音が発生する場合があります。「取付・取扱説明書」記載の内容を参照の上、注油するなどのメンテナンスを行ってください。 ●商品の上に乗ったり、はしごをかけないでください。商品の変形だけでなく落下事故の原因となります。
---	---

●門扉

施工上のご注意		使用上のご注意	
	*みだりに改造・変更をしないでください。		商品の破損などによる身体の損傷などの危険がありますので、以下の使い方を守ってください。 *扉を揺すったり、扉に乗ったり、寄りかかったり、ぶら下がったりしないでください。 *商品にたき火などの火気を近づけないでください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
	*給湯器、暖房器などの排気熱が、商品に直接当たる場所には施工しないでください。また、商品にたき火などの火気を近づけないでください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。 *商品の施工については、必ず取付説明書に従ってください。また、施工完了後に取扱説明書を施主様にお渡しください。 *電装商品の場合は、配線工事を有資格の専門業者に依頼してください。 *門扉に使用している樹脂は優れた耐候性を持っていますが、有機溶剤や石油類に侵される性質も持っていますので、それらが付着しないようにしてください。 *モルタルやコンクリートの抽出液が、商品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。		*門扉を開閉する時には、門柱と扉の間や、扉と扉の間に手や足をはさまないように注意してください。 *把手を持って門扉を開閉する時には、扉に手を当てないように注意してください。 *通常使用しない場合は、必ず施錠してください。強風で扉が開き、人に当たるおそれがあります。 *落ち葉(松葉など)が柵に溜まったときには、ピンセットや割り箸を使用して取り除いてください。直接手で取り除くと怪我をするおそれがあります。 *門扉の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、表面に付着しないようにしてください。表面が変色するおそれがあります。
	*変形のおそれがありますので、平らな場所に保管してください。		

●フェンス 本製品は、隣地境界を目的に設置するもので、防護柵や手すりの機能はありません。転落など重大事故が起きるおそれのある場所には設置しないでください。

施工上のご注意		使用上のご注意	
	*みだりに改造・変更をしないでください。		商品の破損などによる身体の損傷などの危険がありますので、以下の使い方を守ってください。 *フェンスを揺すったり、フェンスに乗ったり、寄りかかったり、ぶら下がったりしないでください。 *フェンスに雨具、洗濯物、布団などを載せないでください。 *商品にたき火などの火気を近づけないでください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
	*給湯器、暖房器などの排気熱が、商品に直接当たる場所には施工しないでください。また、商品にたき火などの火気を近づけないでください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。 *商品の施工については、必ず取付説明書に従ってください。また、施工完了後に取扱説明書を施主様にお渡しください。 *支柱の水抜き穴は、モルタルなどで塞がないでください。 *フェンスに使用している樹脂は優れた耐候性を持っていますが、有機溶剤や石油類に侵される性質も持っていますので、それらが付着しないようにしてください。 *モルタルやコンクリートの抽出液が、商品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。 *施工取り付けに関しては、メーカー標準の基礎寸法や、使用材料の規定が必ずしも現地に当てはまるものではありません。性能・機能を発揮するためには、現地の条件に応じた判断と施工が必要です。(堅牢な地盤、軟弱な地盤など現地判断が必要です。)施工取り付けの業者様と十分にご検討ください。		*落ち葉(松葉など)が柵に溜まったときには、ピンセットや割り箸を使用して取り除いてください。直接手で取り除くと怪我をするおそれがあります。 *フェンスの付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、表面に付着しないようにしてください。表面が変色するおそれがあります。
	*変形のおそれがありますので、平らな場所に保管してください。		

使用上・施工上
のご注意

商品の
お手入れ方法

カラー
バリエーション

門扉用錠・
埋込調整金具
一覧

サイン
ネーミング
一覧

屋根材・パネル
一覧

詳細納まり図
基礎寸法表

配管工事参考
図

生産中止商品
のご案内

商品情報